

イギリスから Hello! (こんにちは)

12月のロンドン、日の出が午前8時頃、日の入りが午後4時前で、太陽は地平線の少しばかり上をるように移動していきます。また、天気予報欄に雨マークのついてない日を見つけるのが難しく、毎日のように雨が降り、校庭のグラウンドはいつも湿っています。しかし、そんな中でも子どもたちは、毎日元気に登校して、勉学に励んでいます。そして、雨の降っていないときを見つけては、外で元気に縄跳び、一輪車、ボール遊び等をして、エネルギーを発散しています。

さて、年末にふさわしい本校の取り組みを2つ紹介します。1つは‘Season’s Greeting Card’です。英国ではグリーティングカード専門のお店がたくさんあり、事あるごとにカードを送る習慣があります。本校でも、教育活動等でお世話になっている地元の人たちやご迷惑をおかけしている近隣の人たちにカードを送ります。もともとは、クリスマスカードを送っていたようですが、ここロンドンは世界中の人たちが集まっている街ですから、宗教上の配慮が必要です。そこで、クリスマスを意識させるような表現や挿絵を使わないで、年末のお礼状風のカードを送ります。子どもたち一人ひとりが工夫を凝らしたカードを作成し、保護者の会の皆様にもご協力いただいてカードを配ります。

もう一つは‘Sponsorship’活動です。何だと思いませんか。この活動は、日本で言うところの“歳末助け合い募金”のようなものです。まず、子どもたちそれぞれが目標を決めます。その目標とは「毎日30分読書をする」「二重跳びを10回できるようにする」「毎日庭の掃除をする」

ロンドン日本人学校のホームページ <http://www.thejapaneseschool.ltd.uk/> もご覧ください。

等、少し頑張れば達成できそうなものです。そして、その目標が達成できたらお金を払ってくれるスポンサーを募ります。一人につき20ペンス(約46円)から1ポンド(約230円)程度の金額で、スポンサー役は多くの場合、家族や親戚、または近所の人です。小学部の場合ですと、合計金額が多くても2ポンドまでに行っているようです。期間はだいたい1週間程度です。子どもたちはスポンサーからもらったお金を学校に持ち寄り、まとめてBBC放送主催の‘Children in Need’に募金することになります。

ところで、街は今クリスマスモードでいっぱいです。英国のクリスマスは日本のお正月のように、1年のうちでも最も大切な家族のイベントともいえるものです。たくさんのカードを交換したり、家族が一堂に会してテーブルを囲んでごちそうを食べたりします。もちろん、プレゼントも家族全員が交換し、プレゼントの包みを開ける瞬間を楽しむようです。英国で過ごす初めての年末年始は、歴史や文化の違いを認識するもう一つの機会になりそうです。2007年も皆様にとって良い年でありませうようにお祈り申し上げます。

ロンドン日本人学校 教頭 白川明徳



BBC放送のスポンサーシップのロゴマークです。



スポンサーシップの募金風景です。

子どもの人権専門委員からのメッセージ

～ 子どもたちのかけがえのない命を守るために ～

【子どもたちへ】

あなたの命は、とても大切なものです。あなたが今そこに生きているということ、そのことがあなたにとって、そして家族、友だち、社会にとって大切で幸せなことなのです。もし、「いじめ」などを受けてつらく悲しい気持ちになったときは、一人で悩まないで、SOSのサインを送ってください。私たち「子どもの人権専門委員」は、いつでもあなたの味方です。

あなたの周りに「いじめ」などを受けて苦しんでいる友だちはいませんか。あなた自身が「いじめ」に加わったり、見て見ぬふりをしていませんか。勇気を持って「いじめ」を受けている友だちの力になってあげてください。そして、友だちを大切にしましょう。私たち「子どもの人権専門委員」は、あなたの勇気に期待し、あなたを応援します。

【地域の皆様へ】

あなたの身の回りに「いじめ」や虐待で苦しんでいる子どもはいませんか。気づいたことがあれば、すぐに私たち「子どもの人権専門委員」にお知らせください。地域みんなで、子どもたちを守っていきましょう。

子どもの人権110番 0570・070・110

午前8時30分～午後5時15分(土・日・祝日除く)

子どもたちに元気で遊びたいと生活してもらいたいというのは、みんなの願いです。

ところが、最近「いじめ」や虐待によって子どもたちのかけがえのない命が失われる事案が後をたちません。

法務省および全国人権擁護委員連合会では10月31日、子どもの人権専門委員全国会議を開催し、「いじめ」に関する今後の取り組みについて検討した結果、前記のとおりメッセージが採択されました。



三豊市男女共同参画ルーム



三豊市男女共同参画推進ネットワーク登録団体事業

「男だから」「女だから」と区別されたり、制約されたりしたことはありませんか？

三豊市男女共同参画推進ネットワークでは、市内で活動している各団体が相互に交流し、情報の交換や情報の発信を行うとともに、それぞれの活動を通して、さまざまな分野へ積極的に参加することにより、男女の区別なく全ての人々が自分らしく生き生きと過ごせる社会を目指すことに賛同していただける登録団体を募集しています。まちづくりや環境問題をはじめ、少子・高齢化などの問題を、男女共同参画の視点から考えてみませんか。

対象 三豊市内で活動している団体(女性団体に限りません)

募集期間 1月31日(水)まで

申し込み 企画課に備えている所定の用紙に必要な事項を記入して提出してください。

三豊市男女共同参画講演会

日時 2月25日(日)午後1時30分開会

場所 マリンウェーブ

講師 弁護士 住田 裕子さん

(行列のできる法律相談所に出演中)

演題 「変革期の今 人、意識、どう変わる」

主催 三豊市・三豊市男女共同参画社会づくり推進協議会

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

問い合わせ 企画課 62・1115

入場
無料



シリーズ
No. 7

なんなん？ 食育

詫間中学校

詫間中学校では、本年度より配置された栄養教諭を中心に、家庭科、保健体育、学級活動、給食の時間などを活用して、積極的に食事の大切さや、望ましい食事の取り方についての指導を行っています。

また、体験学習を積極的に取り入れており、大豆を栽培し、とうふ作りをするという一連の農業体験。学校で学習したことを実生活に生かす体験として、家庭での朝食作りや弁当作りの実践。茶がゆの試食や手打ちうどん作りなど、地域の食文化に触れる体験をし、生徒たちは机の上の学習では得られない多くのことを学ぶことができたようです。

一方、「親子で考える簡単朝食メニュー」の募集、料理講習会、給食試食会などを通して、家庭への発信・啓発も行っています。また、学校給食に地元でとれる食材を積極的に取り入れて、生産者の苦勞や工夫を伝えるなど家庭や地域との連携を深めるための取り組みも行っています。

本校の食育の取り組みの重点目標は、「朝食を必ず摂る生徒100%」です。現在、この目標達成のためにPTAと連携して「早寝・早起き・朝ごはん」運動を展開し、基本的な生活習慣の見直しを図っています。その結果、生徒や保護者の朝食の必要性についての意識は高まりつつあり、今後は、さらに目標を高くし「栄養バランスのとれた朝食を毎日とる」ことを習慣化していくための取り組みを工夫し、実践していきたいと思えます。

メニュー紹介

「親子で考える簡単朝食メニュー」応募作品より

カルシウムたっぷりトースト



見た目はいまひとつ。でも、食べてみると香ばしくておいしいですよ。

材料(2人分)

食パン・・・2枚
とろけるチーズ・・・2枚
ちりめんじゃこ・・・8g
味噌つけのり・・・1袋

作り方

食パンの上にちりめんじゃこ、のり、スライスチーズの順において、オーブントースターで焼く。

野菜スープ



具だくさんのスープで野菜もとれます。ほうれん草は冷凍しておくとう便利です。

材料(2人分)

たまねぎ・・・50g たまご・・・30g
にんじん・・・30g コンソメ・・・3g
じゃがいも・・・70g 塩・・・少々
ほうれん草・・・30g こしょう・・・少々

作り方

たまねぎ、にんじん、じゃがいもは5mmくらいの小さなさいころ状に切る。ほうれん草はゆでて、2cmの長さに切る。鍋に水を入れて、ほうれん草以外の野菜を、やわらかくなるまで煮る。コンソメを入れ、塩、こしょうで味を整える。ほうれん草を入れ、溶き卵を流し入れてできあがり。